

校内研修を教師の成長の場とするために

5つのポイント
授業研究会で深め合う
継続的に学び合う
同僚性を意識する
組織の力を生かす
自分事として学ぶ



研究協力校には興味深いたくさん取組がありました。取材から5つのポイントをまとめましたが、どの協力校においても、特に「自分事として学ぶ」ことを意識して校内研修に取り組んでいました。

教師一人一人が、校内研修に取り組むことは、自らの専門職性を高めていく営みであると自覚しながら、継続的に学んでいくことが大切です。教師として成長するために、以下のことを確認してみませんか。

校内研修に対するあなたの意識を確認しましょう

- どのような課題意識をもって参加しようと思っていますか？
- 子供の学びを見取る力を向上させようと思っていますか？
- 授業者でも参観者でも、学んだことを自身の授業改善に反映させようと思っていますか？
- 日常的に、研修で学んだことを同僚と話題にしようと思っていますか？
- 日常的に授業リフレクションをし、授業を改善するためのヒントをつかもうと思っていますか？

令和6(2024)年度 調査研究協力校

宇都宮市立御幸が原小学校
日光市立湯西川小中学校
芳賀町立芳賀南小学校
那須烏山市立南那須中学校
小山市立萱橋小学校
大田原市立湯津上中学校
佐野市立吉水小学校

各校の取材の様子は、「調査研究通信」にてご覧いただけます。



校内研修に役立つ資料が見付かります！

栃木県総合教育センター 調査研究

検索



参考 今、求められている「教師の姿」とは？
(文部科学省 中央教育審議会答申より)

目指すべき教職員の姿 (令和3年1月)

- ・環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている。
- ・子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている。
- ・子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている。



新たな教師の学びの姿 (令和4年12月)

- ・変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学ぶという「主体的な姿勢」
- ・求められる知識技能が変わっていくことを意識した「継続的な学び」
- ・新たな領域の専門性を身に付けるなど強みを伸ばすための、一人一人の教師の個性に即した「個別最適な学び」
- ・他者との対話や振り返りの機会を確保した「協働的な学び」



令和6(2024)年度 小・中学校における教員の資質・能力の向上に関する調査研究

私の学びを支える校内研修

～教師として成長するために～



校内研修での「学び」を実感していますか？

「主体的・対話的で深い学び」を実現することは、子供たちだけでなく、教師の学びにも求められています。私たち教師の学びについては、校内外の様々な研修がありますが、その中核となるのは、校内研修等の「現場の経験」を重視した学びです。

多くの小・中学校では、校内研修の機会を計画的に確保し、それぞれ特色ある実践を行っています。一方で、校内研修の形骸化、多くの時間を割くことへの負担や研究授業を行うことへの不安などから、校内研修に対して消極的な声も聞かれます。

校内研修は、日々の経験を踏まえて職場の同僚と共に学べる貴重な場です。教師一人一人が校内研修をきっかけに、前向きな気持ちで日々の実践に取り組むために、自身の学びを支える校内研修の在り方について、一緒に考えてみましょう。

次のページには、校内研修が充実する5つのポイントを紹介しています。

校内研修に前向きに取り組んでいる県内の小・中学校を取材し、各校の実践を基に校内研修が充実するポイントを5つにまとめました。ポイントにつながる実践の中から、いくつかの事例を取り上げ、先生方の声とともに紹介しています。校内研修に取り組む際に、それぞれの立場で、ご活用ください。

学校支援として校内研修をサポートしています

総合教育センターでは、学校支援として社会教育主事や指導主事が学校にお伺いして、校内研修をサポートしています。詳しくはセンターのWebサイトをご覧ください。





取材から
見えた！

校内研修が充実する5つのポイント

～私の学びを支える校内研修にするために～

校内研修充実のポイント



協力校での取材記録



取材での
先生方の声

(今回取材したのは、協力校での研修の一部です。)

授業研究会で深め合う

授業研究会は、校内研修の中心となるものです。互いの授業を見合い、語り合うことは、自身の思考を整理し、授業の見方を広げるきっかけとなります。経験や個性の異なる教師が自由に語り合うことで、学びが深まり充実していきます。

【取材で見られた好事例】

- 子供の学びに注目した授業研究会
- 教科等の枠を越えた授業研究会
- 授業動画や写真で振り返る研究協議
- 学校独自の授業参観シートの活用
- 日常的に授業を見合う機会の確保



継続的に学び合う

継続的に学びを積み重ねていくことは、教師としての成長につながります。研修会のときだけでなく、日常の限られた時間の中でも、効果的・効率的に学び続けることが大切です。各学校の実態に合わせて、無理のない研修の形を工夫することで、学びが持続していきます。

【取材で見られた好事例】

- 短時間でのミニ授業研究会
- 自由参加型のミニ研修
- ICTを効果的に活用した実践及び研修
- 自主的に集まって始まる教材研究
- ミニ通信で教師の学びに役立つ情報を共有



短時間でのミニ授業研究会

授業を撮影した動画の一部を見ながら、子供の発言や表情等の事実を基に、考えたことを語り合っていました。対話の時間は動画視聴を含めて15分と、事前に決めておくことで、日常的に短時間で実施する授業研究会を目指していました。



中学校・校長

現段階では、依頼した講師が研修を進めていますが、ゆくゆくは、職員だけで日常的に授業について語り合えることを理想としています。



子供の学びに注目した授業研究会

注目する子供やグループを決め、表情やつぶやきなど学びの事実を見取りながら参観していました。研究会では、見取った事実を基に子供がなぜそうしたのか、それぞれの考えを聞き合うことで、子供や授業者を分析的に見る目を養い、授業改善の在り方を共有していました。

授業研究会では、子供の学びの事実を基に語ることで、自分が担当する教科以外でも発言しやすくなり、深まりのある話し合いができました。



中学校・研究主任



研修の振り返りの蓄積

研修における学びや成長を実感したり、課題を明確にしたりするために、振り返りの時間を設けていました。シートへの記入、付箋やタブレットの活用により、それぞれの振り返りについて対話を広げ、自身の学びを深めていました。



小学校・参観者

自分のクラスだったと考えながら参観したことや、研修会で学んだことを、日々の授業に生かすことができました。

自分事として学ぶ

研修に課題意識をもって取り組むことで、自分事として学ぶことができます。研修から何を学ぶのか、学んだことをどう生かすのかを意識し、明日からの取組につなげて学び続けることが重要です。校内研修をきっかけに、自身の実践と省察を積み重ねることで、教師としての専門職性が高まっていきます。

【取材で見られた好事例】

- 研修の振り返りの蓄積
- 各種調査結果を踏まえた省察
- 日々の授業とのつながりを意識
- 教職員のニーズに基づいた研修内容



日々の授業とのつながりを意識

授業研究会での振り返りを工夫したり、調査結果の分析から子供の実態を捉え直したりして、日々の授業とのつながりを意識していました。校内研修をその場限りの学びとするのではなく、自身の授業改善に生かすことができていました。

前回、授業者として助言を受けたことが、ほかの先生の授業を見るとき視点になりました。



小学校・参観者



同僚性を意識する

同僚性は、教師が協働的に学び合うための土台となるものです。温かい人間関係があると、いつでもどこでも授業や子供について話し合いたくなります。お互いが気軽に話せる雰囲気をつくる工夫により、研修を前向きな学びの場とすることができま

【取材で見られた好事例】

- 安心して発言できる雰囲気づくり
- ラウンドスタディの研修方法を活用
- マシュマロチャレンジでチームビルディング
- 管理職による職場環境等への配慮



安心して発言できる雰囲気づくり

経験や年齢に関係なく、誰もが安心して発言できる雰囲気があるお陰で、協議の内容に深まりが見られました。管理職が積極的に研修に関わったり、研修担当が参加者全員に気軽に声を掛けたりすることも、雰囲気づくりの大切な要素となっていました。

職員室の雰囲気がよく、先生方が何でも話せることが本校のよさだと思います。若い先生が積極的に先輩に質問するなど、よい関係が築けています。



小学校・校長

組織の力を生かす

校内研修は、全職員で組織的に取り組むことが大切です。時には、学校外の組織を活用することで研修の効果が上がります。組織の目標や外部との連携による効果を意識することは、専門職として学び合う組織の一員であることを自覚し、協働的に創意工夫を重ねていくことにつながります。

【取材で見られた好事例】

- 実践と学校課題との関連を意識する
- 管理職と研修担当の緊密な連携
- 他校と連携した授業づくり
- 教育委員会による支援の活用
- 外部講師による伴走型支援



他校と連携した授業づくり

学校の枠を越えた学年部会を町内の全小学校で組織し、参集型やオンライン等でやり取りをしながら、指導案検討や授業研究会を行っているそうです。教育委員会が学校間の連携を進めたり、外部講師との調整をしたりすることで、先生方は研修に専念することができていました。



小学校・授業者

単学級なので、校内ではできない事前授業を、他校で実施できることは有難いです。子供の反応を客観的に見ることができるので、自分の授業に生かすことができます。

令和7(2025)年度は、教師一人一人の資質・能力の向上を意識した校内研修の実践について調査研究を行っていきます。